

## 第3章 補完調査

### 3.1 調査の概要

#### (1) 調査の目的

中山間地域における日頃の移動の実態を把握するために、通勤、通学、買物、通院などの行先や利用手段、及びバスやタクシーの利用状況などについて、調査を実施した。

#### (2) 実態調査の概要

##### ①調査方法

住民基本台帳から無作為に抽出した世帯を調査員が訪問し、世帯内の5歳以上の方を対象として調査票への記入を依頼し、後日、調査員が再訪問し調査票を回収した。

##### ②調査期間

平成29年10、11月（※一部地域で12月まで実施）に、第5回仙台都市圏パーソントリップ調査の実施時期に合わせ実施した。

##### ③調査票配布数

約1,700世帯に調査票を配布した（次ページに調査票を掲載）

※調査票は、世帯票を世帯に1枚、個人票を5歳以上の世帯構成員の全員に配布

##### ④調査票有効回収数

約1,300世帯から、調査票を回収した。（標本率は約37.6%）

##### ⑤調査対象地域

調査に当たり、市街地から離れた居住地区が広がり、人口減少や少子高齢化が進展している西部地区の一部地域を調査対象地域とした。

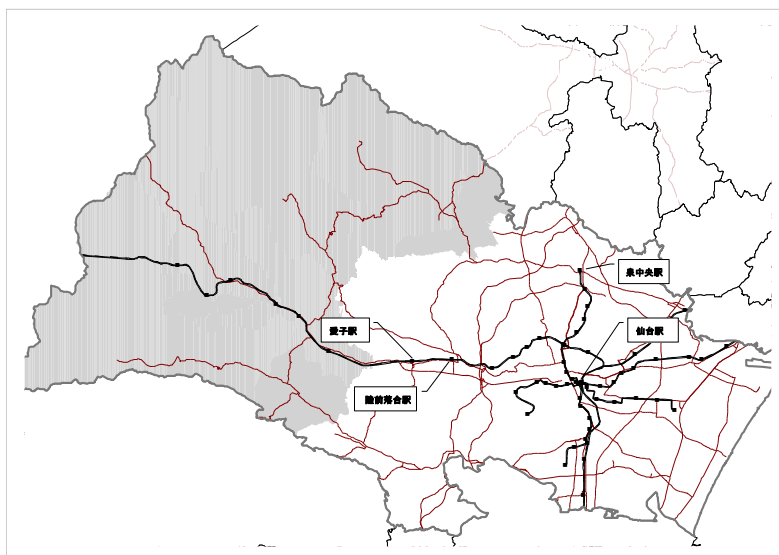


図 3-1 補完調査の対象地域

##### ⑥調査主体

仙台市



問7 あなたの世帯の方全員の就業・就学状況について、お答えください。  
※問2の「個人の整理番号」と同じ番号でお答えください。

個人の整理番号	就業・就学状況	就業先 (通学先・通園先)		主たる勤務先の所在地		産業		始業時刻		その他の勤務先	
		名称	住所	名称	住所	下【1】から選択 (あてはまる産業の番号を記入)	下【2】から選択 (あてはまる産業の番号を記入)	1. 決まっている 午前・午後 時 分	2. 特に決まっていない (シフト制、交代勤務を含む)	1. あり (就業先を含む)	2. ない
1人目	1. 有職者 (派遣・契約・パート・アルバイト) 2. 有職者 (派遣・契約・パート・アルバイト) 3. 有職者 (専業主婦・専業主夫) 4. 学生・生徒・児童 5. 園児・未就学児 6. 専業主婦・専業主夫 7. 休職中、長期休職 8. 無職	名称	住所	名称	住所	下【1】から選択 (あてはまる産業の番号を記入)	下【2】から選択 (あてはまる産業の番号を記入)	1. 決まっている 午前・午後 時 分	2. 特に決まっていない (シフト制、交代勤務を含む)	1. あり (就業先を含む)	2. ない
2人目	1. 有職者 (専業主婦・専業主夫) 2. 有職者 (派遣・契約・パート・アルバイト) 3. 有職者 (専業主婦・専業主夫) 4. 学生・生徒・児童 5. 園児・未就学児 6. 専業主婦・専業主夫 7. 休職中、長期休職 8. 無職	名称	住所	名称	住所	下【1】から選択 (あてはまる産業の番号を記入)	下【2】から選択 (あてはまる産業の番号を記入)	1. 決まっている 午前・午後 時 分	2. 特に決まっていない (シフト制、交代勤務を含む)	1. あり (就業先を含む)	2. ない
3人目	1. 有職者 (専業主婦・専業主夫) 2. 有職者 (派遣・契約・パート・アルバイト) 3. 有職者 (専業主婦・専業主夫) 4. 学生・生徒・児童 5. 園児・未就学児 6. 専業主婦・専業主夫 7. 休職中、長期休職 8. 無職	名称	住所	名称	住所	下【1】から選択 (あてはまる産業の番号を記入)	下【2】から選択 (あてはまる産業の番号を記入)	1. 決まっている 午前・午後 時 分	2. 特に決まっていない (シフト制、交代勤務を含む)	1. あり (就業先を含む)	2. ない
4人目	1. 有職者 (専業主婦・専業主夫) 2. 有職者 (派遣・契約・パート・アルバイト) 3. 有職者 (専業主婦・専業主夫) 4. 学生・生徒・児童 5. 園児・未就学児 6. 専業主婦・専業主夫 7. 休職中、長期休職 8. 無職	名称	住所	名称	住所	下【1】から選択 (あてはまる産業の番号を記入)	下【2】から選択 (あてはまる産業の番号を記入)	1. 決まっている 午前・午後 時 分	2. 特に決まっていない (シフト制、交代勤務を含む)	1. あり (就業先を含む)	2. ない
5人目	1. 有職者 (専業主婦・専業主夫) 2. 有職者 (派遣・契約・パート・アルバイト) 3. 有職者 (専業主婦・専業主夫) 4. 学生・生徒・児童 5. 園児・未就学児 6. 専業主婦・専業主夫 7. 休職中、長期休職 8. 無職	名称	住所	名称	住所	下【1】から選択 (あてはまる産業の番号を記入)	下【2】から選択 (あてはまる産業の番号を記入)	1. 決まっている 午前・午後 時 分	2. 特に決まっていない (シフト制、交代勤務を含む)	1. あり (就業先を含む)	2. ない
6人目	1. 有職者 (専業主婦・専業主夫) 2. 有職者 (派遣・契約・パート・アルバイト) 3. 有職者 (専業主婦・専業主夫) 4. 学生・生徒・児童 5. 園児・未就学児 6. 専業主婦・専業主夫 7. 休職中、長期休職 8. 無職	名称	住所	名称	住所	下【1】から選択 (あてはまる産業の番号を記入)	下【2】から選択 (あてはまる産業の番号を記入)	1. 決まっている 午前・午後 時 分	2. 特に決まっていない (シフト制、交代勤務を含む)	1. あり (就業先を含む)	2. ない
7人目	1. 有職者 (専業主婦・専業主夫) 2. 有職者 (派遣・契約・パート・アルバイト) 3. 有職者 (専業主婦・専業主夫) 4. 学生・生徒・児童 5. 園児・未就学児 6. 専業主婦・専業主夫 7. 休職中、長期休職 8. 無職	名称	住所	名称	住所	下【1】から選択 (あてはまる産業の番号を記入)	下【2】から選択 (あてはまる産業の番号を記入)	1. 決まっている 午前・午後 時 分	2. 特に決まっていない (シフト制、交代勤務を含む)	1. あり (就業先を含む)	2. ない

就業先・通学先・通園先	12 不動産業、物品賃貸業	18 複合サービス業
6 電気業、ガス・熱供給業、水道業	13 学術研究、専門・技術サービス業	19 その他サービス業
7 情報通信業	14 宿泊業、飲食サービス業	20 公務
8 運輸業、郵便業	15 生活関連サービス業、娯楽業	21 その他
9 卸売業	16 教育、学習支援業	
10 小売業	17 医療、福祉	
11 金融業、保険業		

図 3-3 調査票 (世帯票ウラ面)

記入にはなるべく黒のボールペンで記入し、  
 ①記入はなるべく黒のボールペンで記入し、  
 ②回答は、表の部分を(回答欄)に、数字や文字を記入してください。  
 ③回答欄に番号がつけられている場合は、当てはまる番号を○で囲んでください。

問1 世帯票で、あなたは何人目ですか。 ※世帯票の○かをお答えください。 人目

問2 ここ1年の自宅からの外出行動についてお聞きします。(1)~(5)の移動目的別に、最もよく訪れた場所と訪問頻度、交通手段などについてお答えください。 ※この個人票は、5歳以上の方全員がお答え下さい。

(1) 通勤  
 世帯票の問1、1で「1」~「5」の回答のうち、最もよく訪れた場所を「表1」から選んで、順番に  
 自宅から通勤先まで、最も利用の多い交通手段(組合せ)は何ですか。  
 利用する手段を「表1」から選んで、順番に  
 お答えください。  
 (地下鉄・JRを利用する場合は、最初に使用する駅名) 駅

(2) 通学・通園  
 世帯票の問1、1で「1」~「5」の回答のうち、最もよく訪れた場所を「表1」から選んで、順番に  
 自宅から通学・通園先まで、最も利用の多い交通手段(組合せ)は何ですか。  
 利用する手段を「表1」から選んで、順番に  
 お答えください。  
 (地下鉄・JRを利用する場合は、最初に使用する駅名) 駅

(3) 買物  
 ※買物とは、店舗・商業施設への外出を対象とします。  
 表1 交通手段  
 1. 徒歩・シニアカー  
 2. 自転車  
 3. 路線バス  
 4. 送迎バス  
 5. 地下鉄・JR  
 6. 自家用車  
 7. タクシー  
 8. その他

(4) 通院  
 ※通院とは、かかりつけ医の内科など、日頃よく行く診療・治療・検査、リハビリ、または付き添いなどを対象とします。(男用は含みません。)

(5) 地域活動・趣味・その他  
 ※町内会の集いや地域の行事・趣味の活動(敬老会活動・グラウンドゴルフなど)、昼や習い事などへの外出を対象とします。

平日 (月~金)	最もよく行くところ	訪問頻度はどの程度ですか。	その場所へ、最も利用の多い交通手段(組合せ)は何か。	その場所へ行く、自宅に帰る時、最も多い時間帯はどれですか。
休日 (日・祝)	最もよく行くところ	訪問頻度はどの程度ですか。	その場所へ、最も利用の多い交通手段(組合せ)は何か。	その場所へ行く、自宅に帰る時、最も多い時間帯はどれですか。
最もよく行くところ	次によく行くところ	訪問頻度はどの程度ですか。	その場所へ、最も利用の多い交通手段(組合せ)は何か。	その場所へ行く、自宅に帰る時、最も多い時間帯はどれですか。
次によく行くところ	次によく行くところ	訪問頻度はどの程度ですか。	その場所へ、最も利用の多い交通手段(組合せ)は何か。	その場所へ行く、自宅に帰る時、最も多い時間帯はどれですか。

裏面もお答えください。

図 3-4 調査票 (個人票才モチ面)

### 表2 路線バス選択理由

ここ1年における路線バスの利用状況についてお聞きします。

1. バスは使い慣れているから 2. 安全に移動できるから 3. 敬老乗車証を持っているから 4. 歩くには遠いから  
5. 車を利用できないから 6. 送迎してくれる人がいないから 7. その他

<p>ここ1年で、外出時に路線バスを利用した頻度はどの程度ですか。</p> <p>1. 年に1回程度 2. 月に2回程度 3. 週に3回程度 4. 利用しなかった (4. 利用しなかった)を運んだ方は、問4へ)</p>	<p>b. 路線バスを利用して主に訪れた場所はどこですか。場所が分かるように具体的な施設名(または店名)を2つまでお答え下さい。 ※施設名が分からない場合は「主を訪れた場所①」には記入しませんが、施設名が分かる場合は施設名を必ず記入してください。</p> <p>主を訪れた場所① (市町村名、町字名) (施設名、店名など) の</p> <p>主を訪れた場所② (市町村名、町字名) (施設名、店名など) の</p>	<p>c. その場所への路線バスでの訪問頻度はどの程度ですか。</p> <p>1. 年に1回程度 2. 月に2回程度 3. 週に3回程度</p> <p>1. 年に1回程度 2. 月に2回程度 3. 週に3回程度</p>	<p>d. その場所を訪れる目的は何ですか。 ※当てはまる番号のついでに○をつけてください。</p> <p>1. 通勤・通学 2. 買い物 3. 通院 4. 娯楽・社交・娯楽 5. 娯楽・他の利用 6. 業務等</p> <p>1. 通勤・通学 2. 買い物 3. 通院 4. 娯楽・社交・娯楽 5. その他の利用 6. 業務等</p>	<p>e. 乗車バス停と降車バス停をお答えください。</p> <p>乗車バス停名 ( ) 番 降車バス停名 ( ) 番</p> <p>乗車バス停名 ( ) 番 降車バス停名 ( ) 番</p>	<p>f. その場所へ行く時、自宅に帰る時、最も多い時間帯はどれですか。</p> <p>1. 9時以前 2. 9～12時 3. 12～16時 4. 16～19時 5. 19時以降</p> <p>1. 9時以前 2. 9～12時 3. 12～16時 4. 16～19時 5. 19時以降</p>
---	---	---	---	--	--

### 表3 タクシー選択理由

ここ1年におけるタクシーの利用状況についてお聞きします。

1. 歩くには遠いから 2. 荷物があるから 3. バスなどの公共交通では行けないから 4. 自分は車を利用できないから  
5. 送迎してくれる人がいないから 6. 運転手で移動するから 7. その他

<p>ここ1年で、外出時にタクシーを利用した頻度はどの程度ですか。</p> <p>1. 年に1回程度 2. 月に2回程度 3. 週に3回程度 4. 利用しなかった (4. 利用しなかった)を運んだ方は、問4へ)</p>	<p>b. タクシーを利用して主に訪れた場所はどこですか。場所が分かるように具体的な施設名(または店名)を2つまでお答え下さい。 ※施設名が分からない場合は「主を訪れた場所①」には記入しませんが、施設名が分かる場合は施設名を必ず記入してください。</p> <p>主を訪れた場所① (市町村名、町字名) (施設名、店名など) の</p> <p>主を訪れた場所② (市町村名、町字名) (施設名、店名など) の</p>	<p>c. その場所へのタクシーでの訪問頻度はどの程度ですか。</p> <p>1. 年に1回程度 2. 月に2回程度 3. 週に3回程度</p> <p>1. 年に1回程度 2. 月に2回程度 3. 週に3回程度</p>	<p>d. その場所を訪れる目的は何ですか。 ※当てはまる番号のついでに○をつけてください。</p> <p>1. 通勤・通学 2. 買い物 3. 通院 4. 娯楽・社交・娯楽 5. その他の利用 6. 業務等</p> <p>1. 通勤・通学 2. 買い物 3. 通院 4. 娯楽・社交・娯楽 5. その他の利用 6. 業務等</p>	<p>e. タクシーの利用区間はどの程度ですか。 ※物(乗車)は自宅を、乗車(降車)は乗車場所を記入してください。</p> <p>乗車場所 ( ) 番 降車場所 ( ) 番</p> <p>乗車場所 ( ) 番 降車場所 ( ) 番</p>	<p>f. その場所へ行く時、自宅に帰る時、最も多い時間帯はどれですか。</p> <p>1. 9時以前 2. 9～12時 3. 12～16時 4. 16～19時 5. 19時以降</p> <p>1. 9時以前 2. 9～12時 3. 12～16時 4. 16～19時 5. 19時以降</p>
---	---	---	--	---	--

※問5、問6は、中学生以上(12歳以上)の方のみお答えください。

### 問5 今後の居住意向についてお聞きします。

a. 今後の住まいの地域に住み続けたいとお考えですか。

1. 住み慣れているから  
2. 先租から受け継いだ土地だから  
3. 緑や自然が豊かだから  
4. 親や子供、親戚が近くに住んでいるから  
5. 仕事の内容や職場が近いから  
6. その他(具体的に )

### 問6 移動販売車やネットショッピング等の外出せずに買う食品・日用品の購入状況についてお聞きします。

a. 購入することは、ありますか。

1. 購入することがある  
2. 購入しない

b. 購入する頻度はどの程度ですか。

1. 年に1回程度  
2. 月に2回程度  
3. 週に3回程度

c. 最も多く利用するもの(ついでに○をつけてください)。

1. ネット・カタログ通販  
2. 移動販売車  
3. スーパー・生協等の配達  
4. その他

d. 移動販売車やネットショッピングを利用する主な理由の上位3つを記入してください。

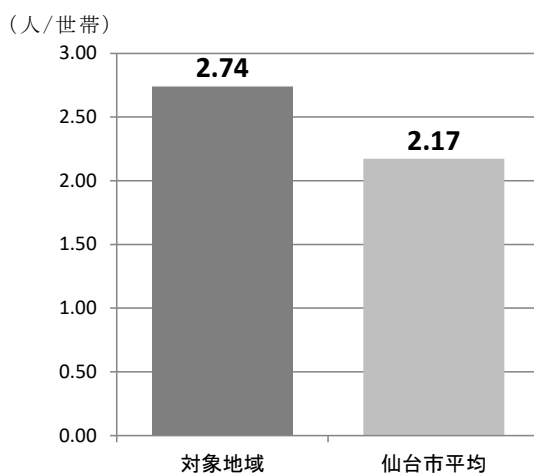
1. 実際に足を運ぶ手間や時間が省ける  
2. 重い、かさばる物を届けてもらえる  
3. 近所のお店がない  
4. 一人で外出することが困難  
5. 移動手段がないから  
6. その他

図 3-5 調査票(個人票ウラ面)

## 3.2 調査結果の概要

### (1) 調査対象地域居住者の特性

調査対象地域の世帯平均人数(回答を得た世帯の平均)は2.74人/世帯と、仙台市平均を上回る。

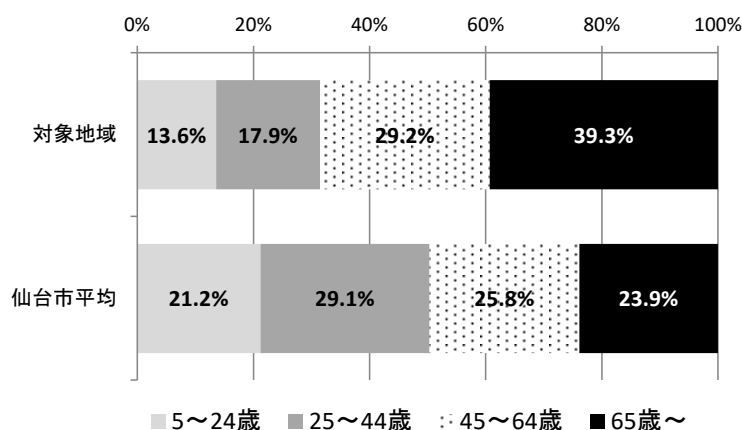


注1：仙台市平均は、平成27年国勢調査

注2：対象地域集計は、サンプル集計

図3-6 平均世帯人数

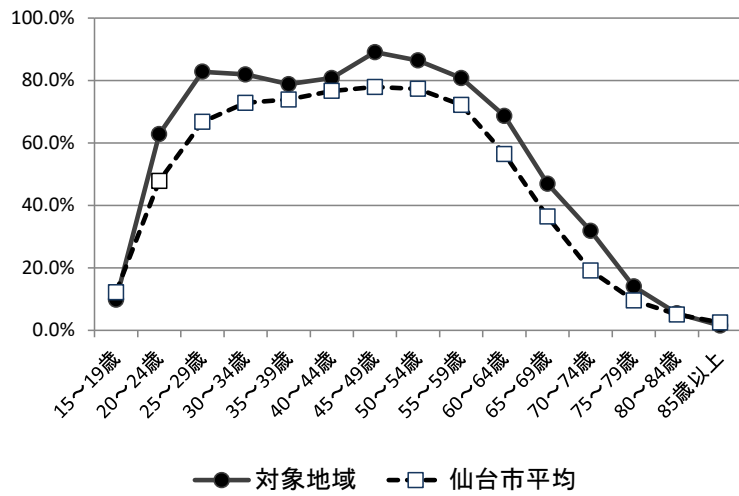
年齢構成では、仙台市平均に比べ、高齢者(65歳以上)の割合が高い。年齢階層別の就業率は、いずれの年齢層でも仙台市平均より高い。また、就業者の産業構成では、一次(農林業等)、二次産業(製造業等)の割合が、仙台市平均より高い。



注1：仙台市平均は、平成27年国勢調査

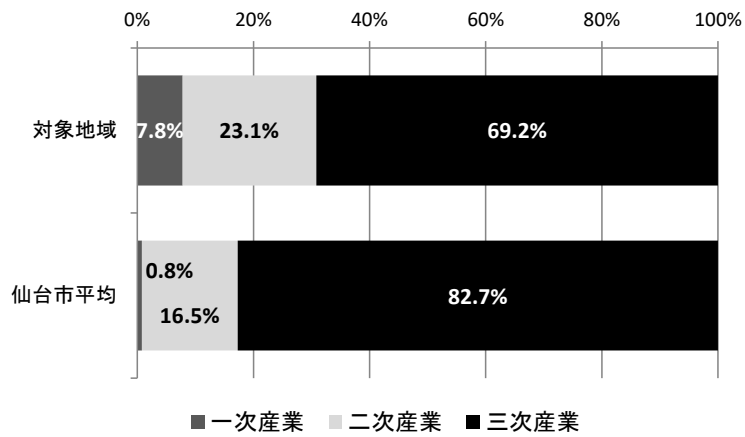
注2：対象地域集計は、拡大値集計

図3-7 年齢階層の構成



注 1：仙台市平均は、平成 27 年国勢調査  
 注 2：対象地域集計は、拡大値集計  
 注 3：就業状況・就学状況不明を除く

図 3-8 年齢階層別の就業率



注 1：仙台市平均は、平成 27 年国勢調査  
 注 2：対象地域集計は、拡大値集計  
 注 3：産業不明を除く

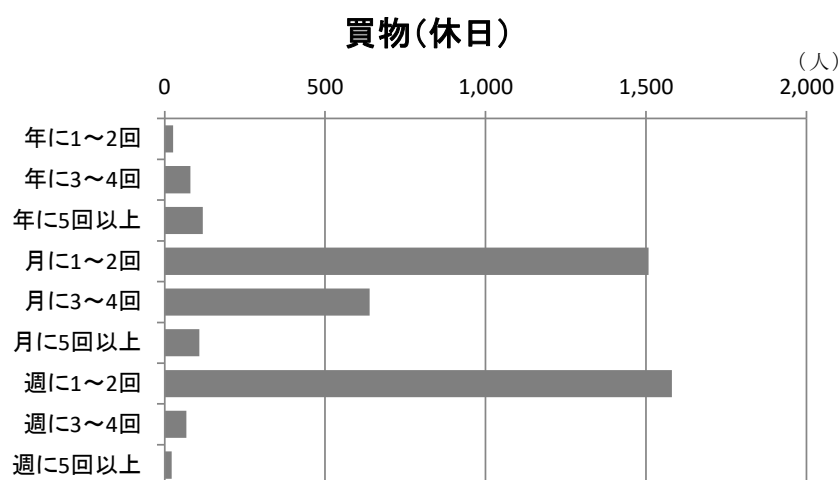
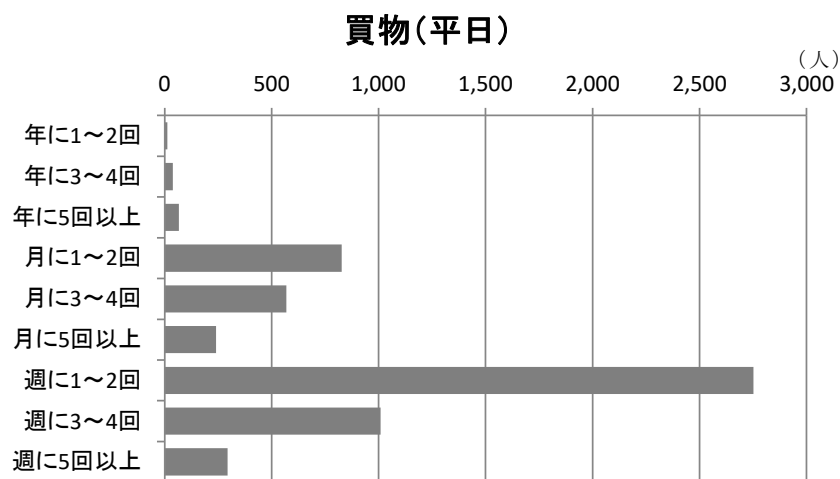
図 3-9 就業者の産業構成



## (2) 日頃最もよく行く行先への移動について

### ① 目的別の出かける頻度

平日の買物は、「週に1～2回」が最も多く、次に「週に3～4回」、「月に1～2回」が多い。一方、休日の買物は「月に1～2回」や、「週に1～2回」が多い。



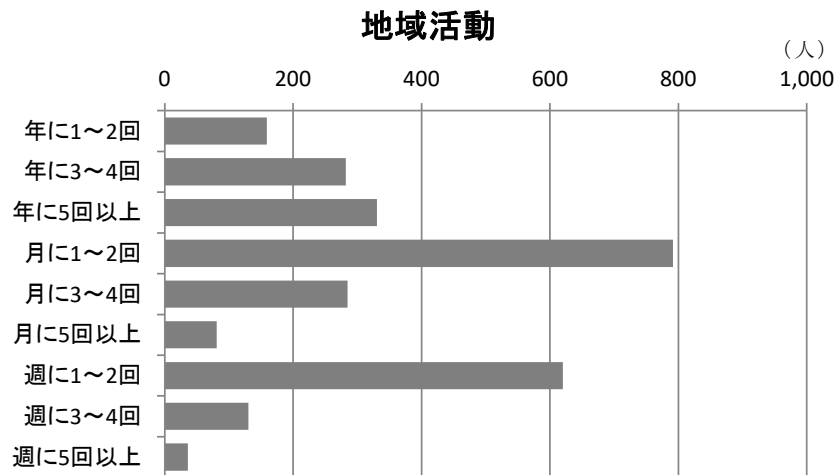
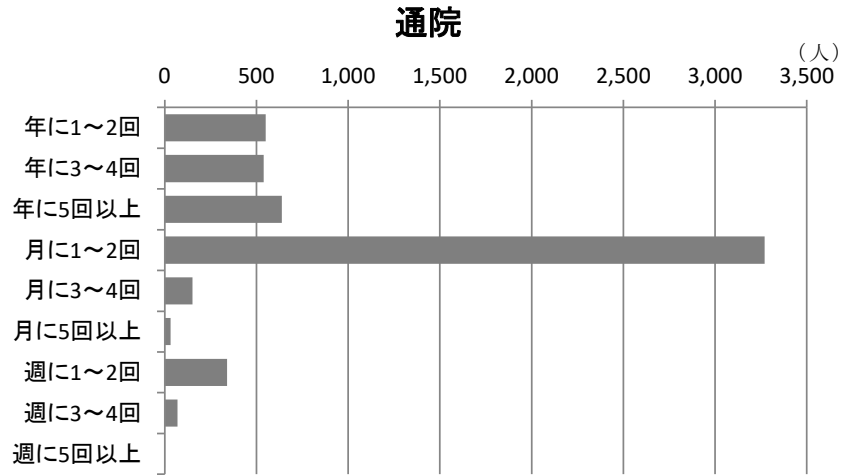
注1：拡大値集計

注2：最もよく行く場所への訪問頻度不明は除く

図 3-10 目的別の最もよく行く場所への訪問頻度 (1/2)



通院目的では、「月に1～2回」が最も多い。地域活動（町内会活動や地域行事等）では、「月に1～2回」が最も多く、次に「週に1～2回」が多い。



注1：拡大値集計

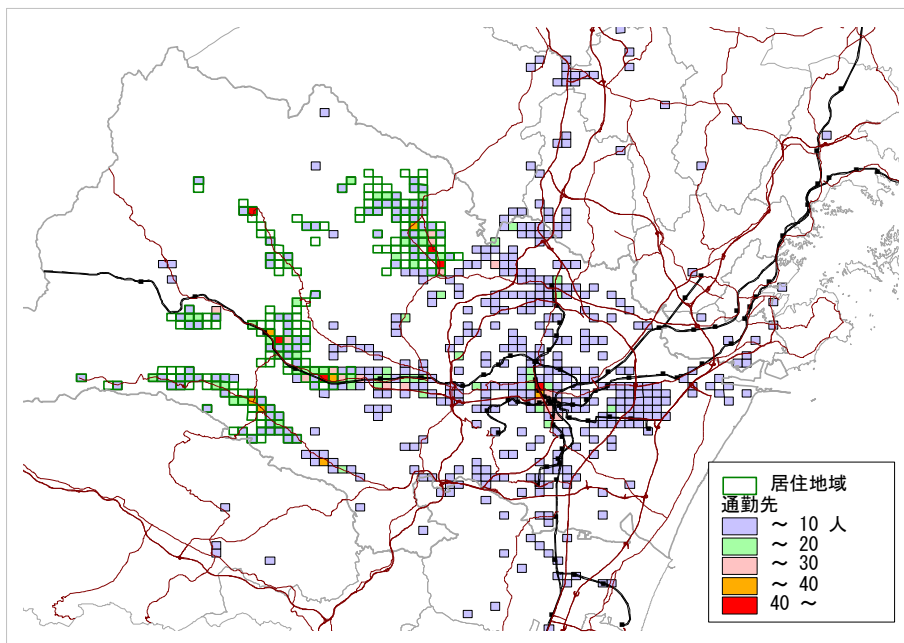
注2：最もよく行く場所への訪問頻度不明は除く

図 3-10 目的別の最もよく行く場所への訪問頻度 (2/2)

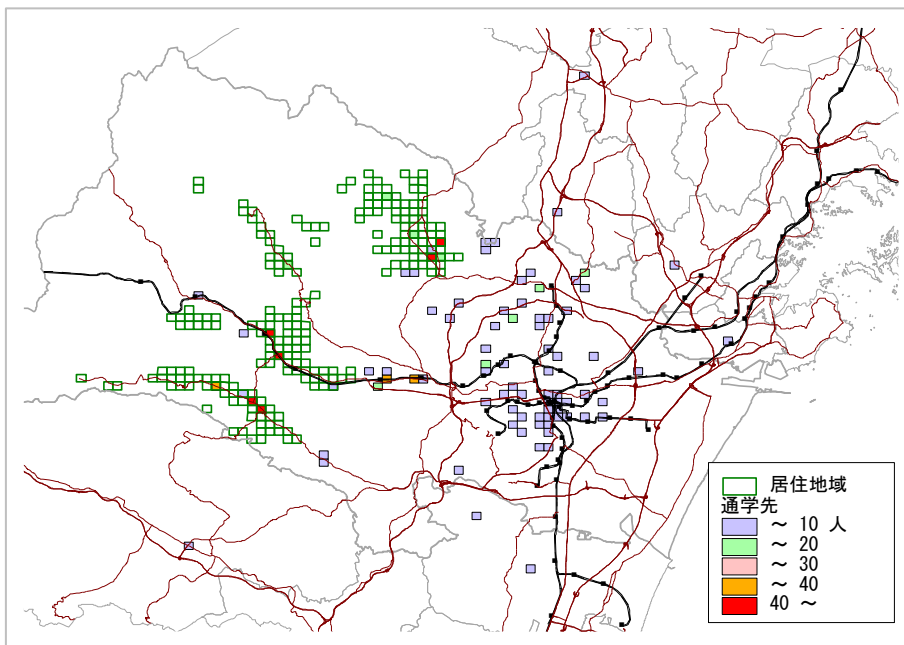
## ②目的別の行き先

西部地区にお住まいの方の通勤先は、仙台市内に広範に広がり、周辺の市町にも及んでいる。通学先は、小・中学生と想定される居住地域付近が多いが、仙台都心や都心周辺の地域にもみられる。

### 【通勤先】



### 【通学先】



注1：拡大値集計

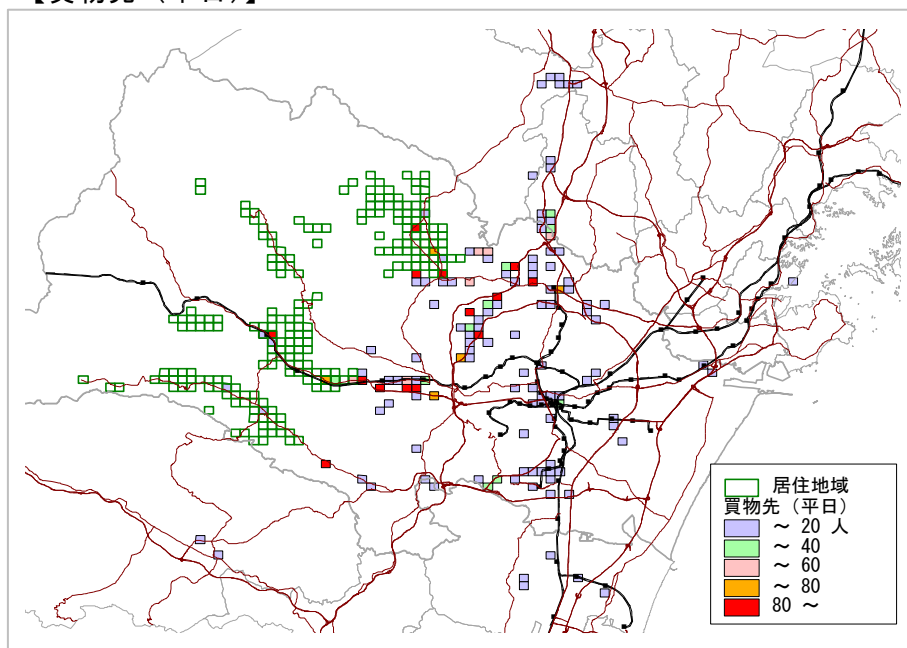
注2：最も良く行く行先を500mメッシュで表示

注3：最もよく行く場所が不明は除く

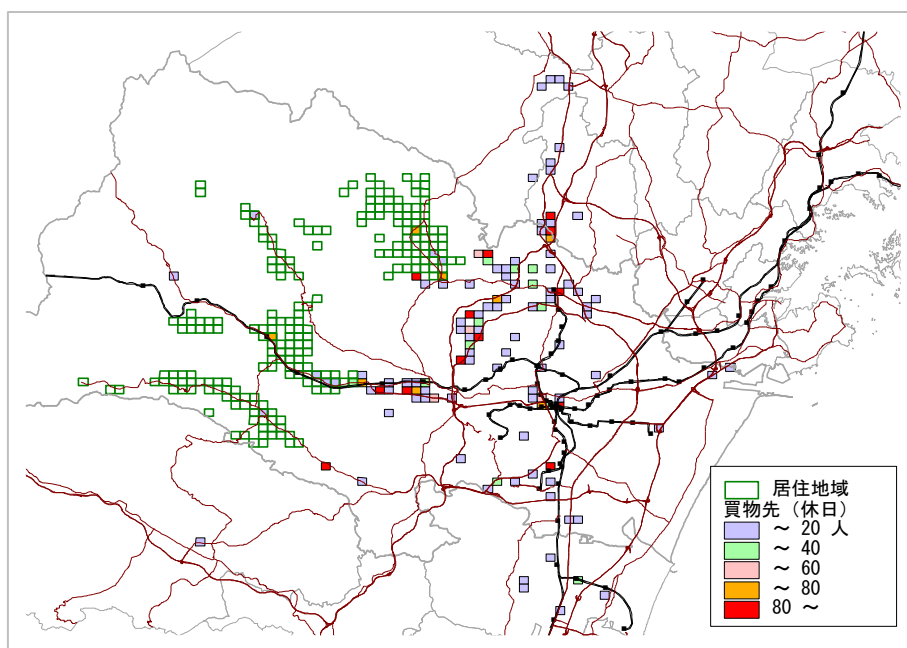
図3-11 目的別の最もよく行き先 (1/3)

平日の買物先は、居住地域付近の J R 駅周辺や幹線道路沿線にみられる。休日の買物先においても、平日と同様の傾向がみられる。

【買物先（平日）】



【買物先（休日）】



注 1 : 拡大値集計

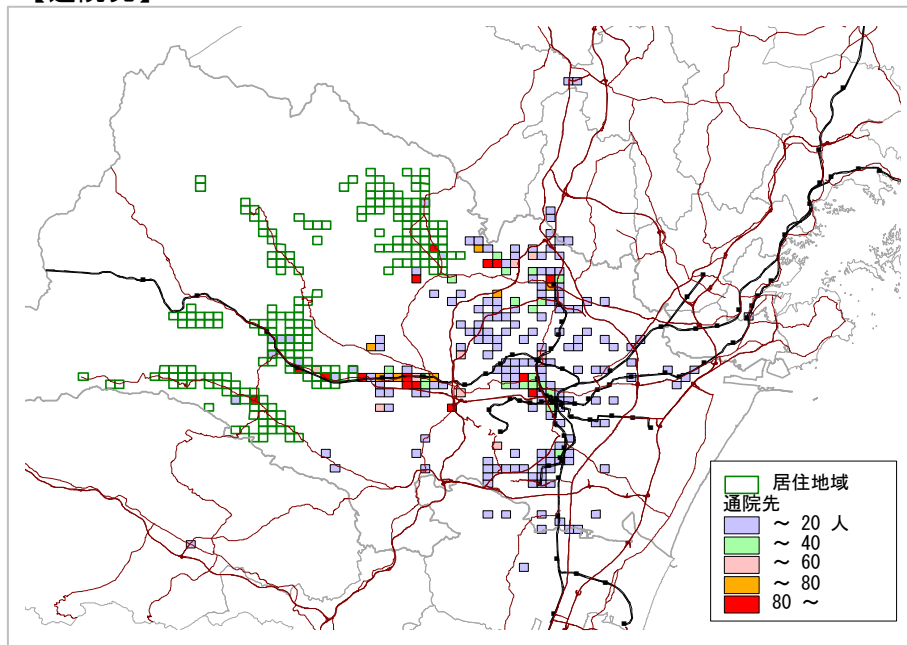
注 2 : 最も良く行く行先を 500m メッシュで表示

注 3 : 最もよく行く場所が不明は除く

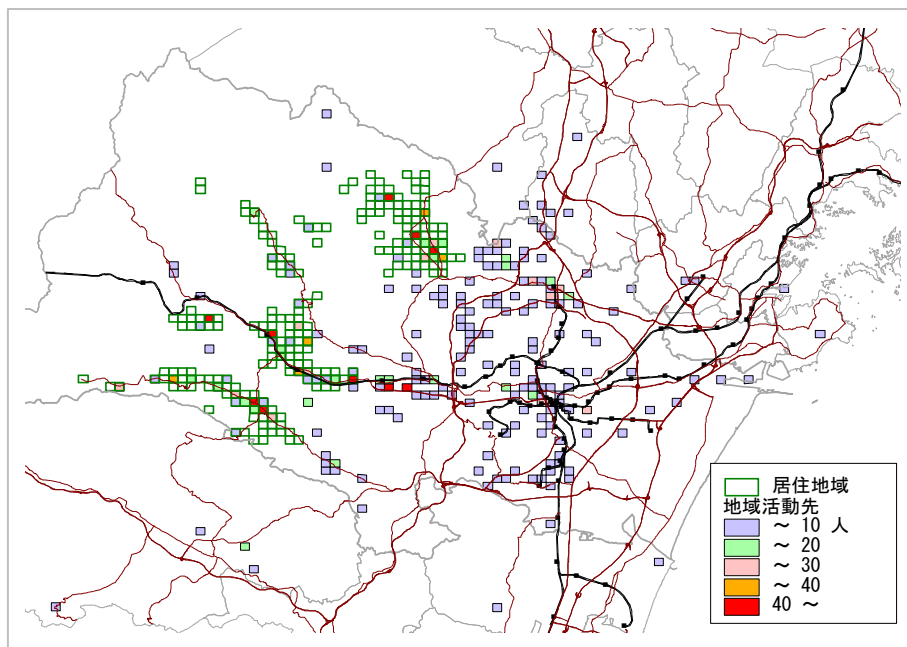
図 3-11 目的別の最もよく行き先 (2/3)

通院先は、居住地域内のほかに、仙台北西市街地や仙台都心、泉中央を含む北西部、長町などの拠点地域や幹線道路沿線にみられる。地域活動先は、居住地域付近に集中する傾向がある一方、市内外に広範に広がる。

【通院先】



【地域活動先】



注1：拡大値集計

注2：最も良く行く行先を500mメッシュで表示

注3：最もよく行く場所が不明は除く

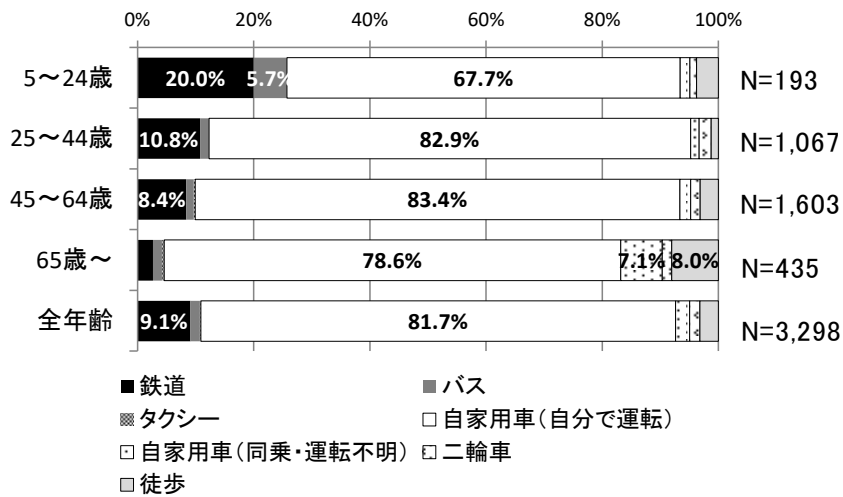
図3-11 目的別の最もよく行き先 (3/3)

### ③目的別年齢階層別の利用手段

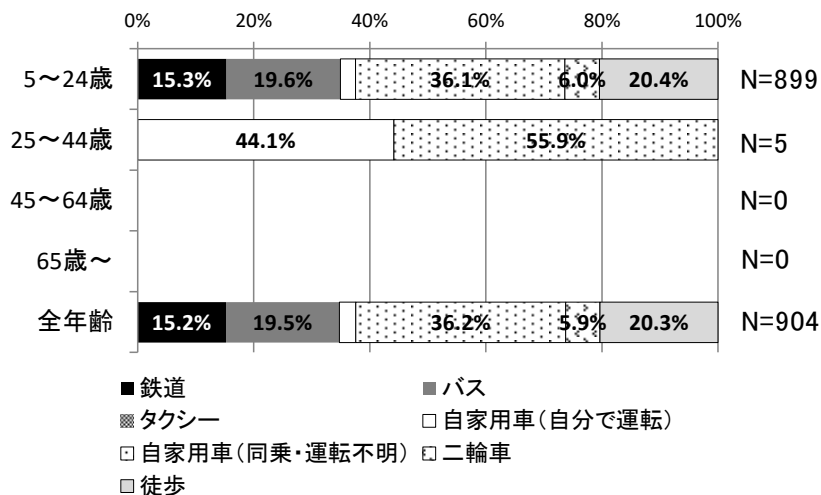
通勤目的の移動では、年齢が上がるにつれて鉄道やバスの公共交通分担率が減り、自家用車分担率が増えている。全年齢では、自家用車（自分で運転）分担率は80%を超える。通学目的の移動では、24歳以下は公共交通や徒歩の利用もみられるが、25歳以上はほとんどが自家用車を利用している。

※ここでは、代表交通手段で集計しています。代表交通手段とは、1 トリップの中で使用した交通手段において、予め設定した優先度が最も高い交通手段のことで、優先度は、鉄道、バス、自動車、二輪車、徒歩の順となります。例えば、自宅から勤務先まで、徒歩→バス→鉄道→徒歩で移動した場合には、代表交通手段は鉄道とな

#### 【通勤目的】



#### 【通学目的】



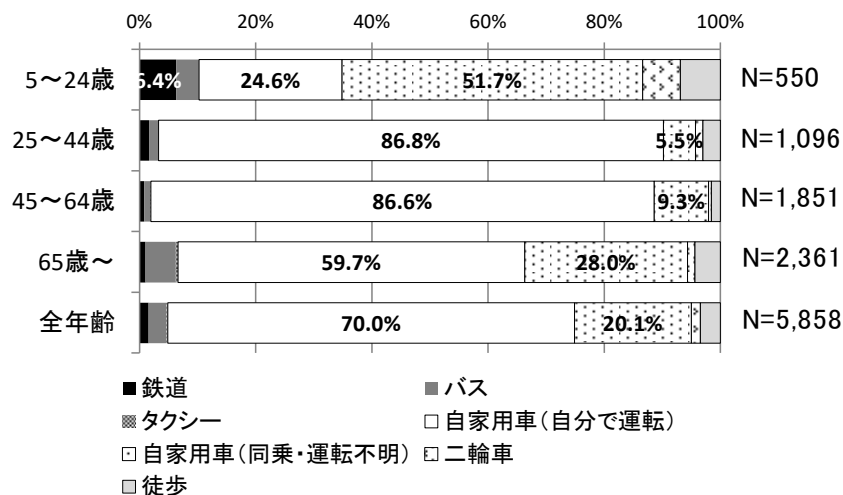
注1：拡大値集計

注2：手段不明を除く

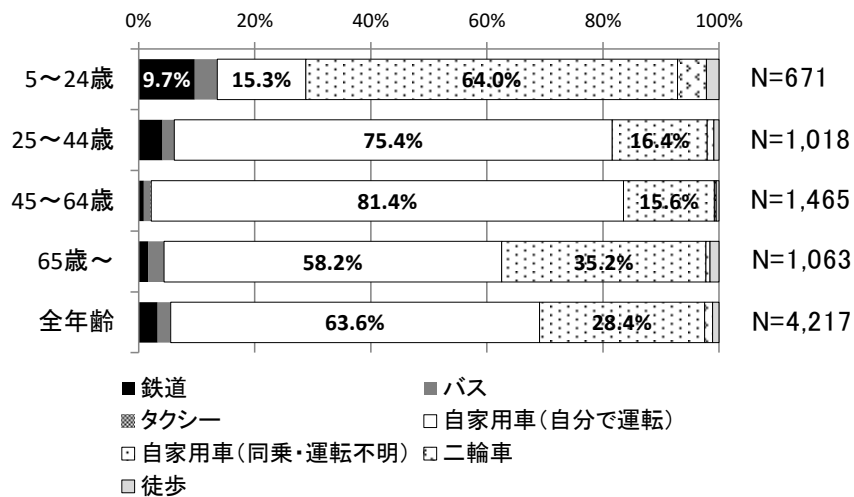
図 3-12 目的別の年齢階層別代表手段分担率 (1/3)

買物目的の移動では平日、休日ともに自家用車の利用が80%から90%に及ぶが、24歳以下は「同乗」の利用が多く、25歳以上では「自分で運転する」割合が「同乗」を上回る。

【買物目的（平日）】



【買物目的（休日）】



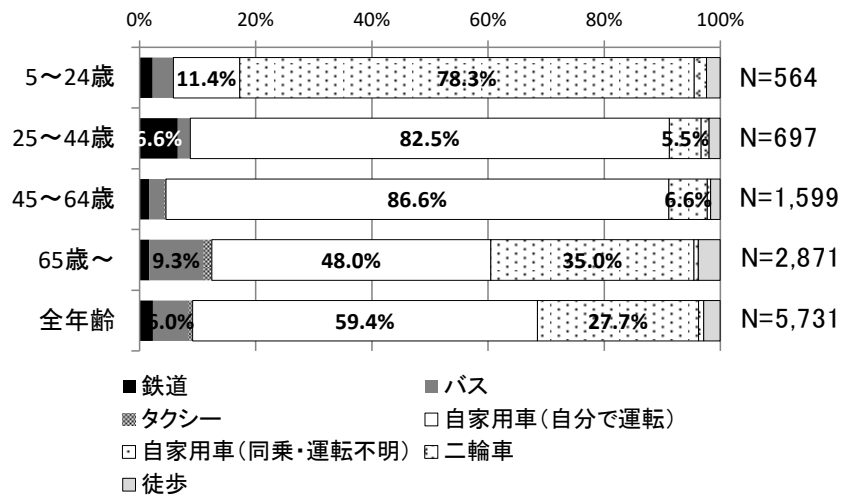
注1：拡大値集計

注2：手段不明を除く

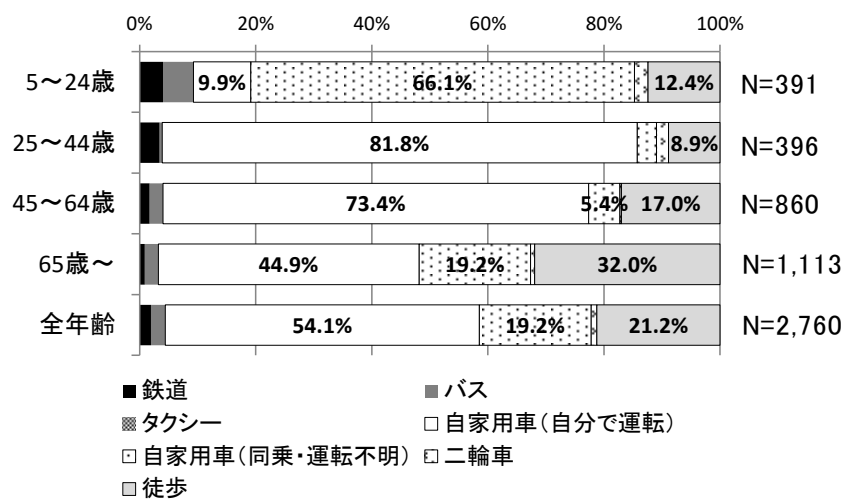
図 3-12 目的別の年齢階層別代表手段分担率 (2/3)

通院目的の移動では自家用車利用は80%を超えるが、24歳以下や65歳以上では自家用車利用でも「同乗」が多い。地域活動目的の移動では、年齢が上がるにつれて「徒歩」の利用が増加している。

【通院目的】



【地域活動目的】



注1：拡大値集計

注2：手段不明を除く

図 3-12 目的別の年齢階層別代表手段分担率 (3/3)

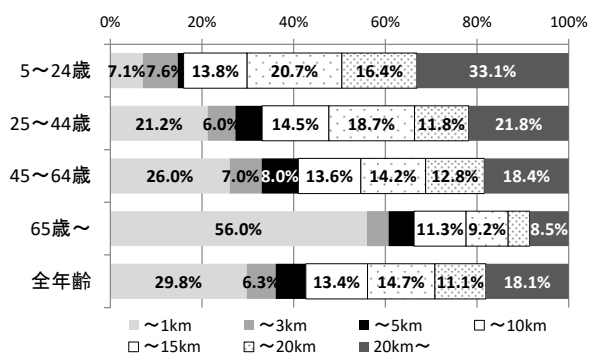


#### ④目的別年齢階層別の移動距離

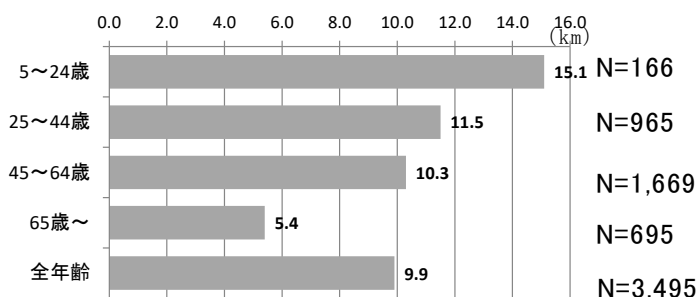
通勤目的の移動では、年齢が低いほど移動距離が長く、年齢が上がるにつれ移動距離が短くなる。特に65歳以上では、1km未満が半数を超えるため、平均移動距離も他の年齢層と比べ短くなっている。通学目的の移動では、24歳以下では移動距離が短い距離から長い距離までみられる。平日の買物目的の移動では、年齢による変化は小さく、平均移動距離は8km台である。

##### 【通勤目的】

###### (移動距離帯構成)

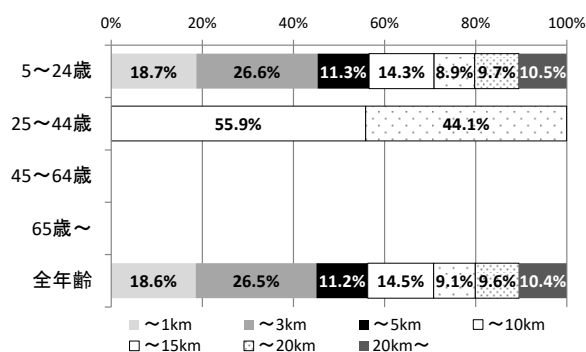


###### (平均移動距離)

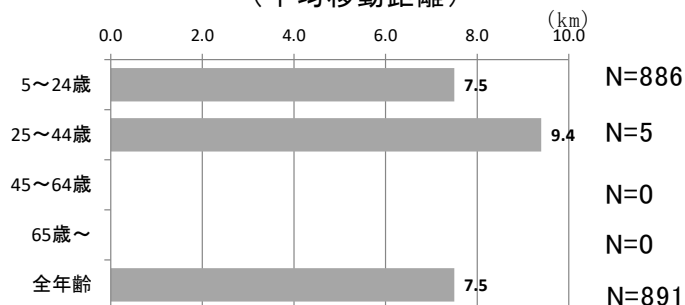


##### 【通学目的】

###### (移動距離帯構成)

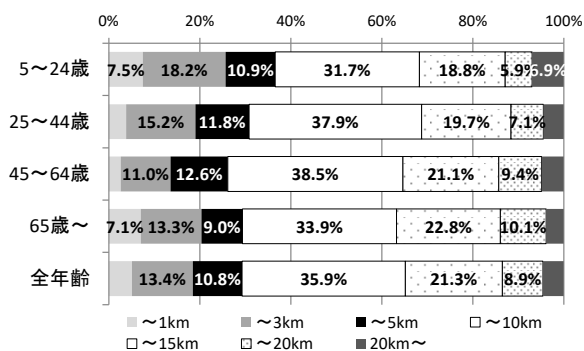


###### (平均移動距離)

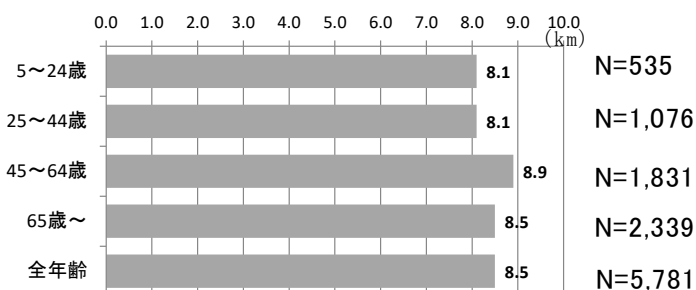


##### 【買物目的 (平日)】

###### (移動距離帯構成)



###### (平均移動距離)



注1：拡大値集計

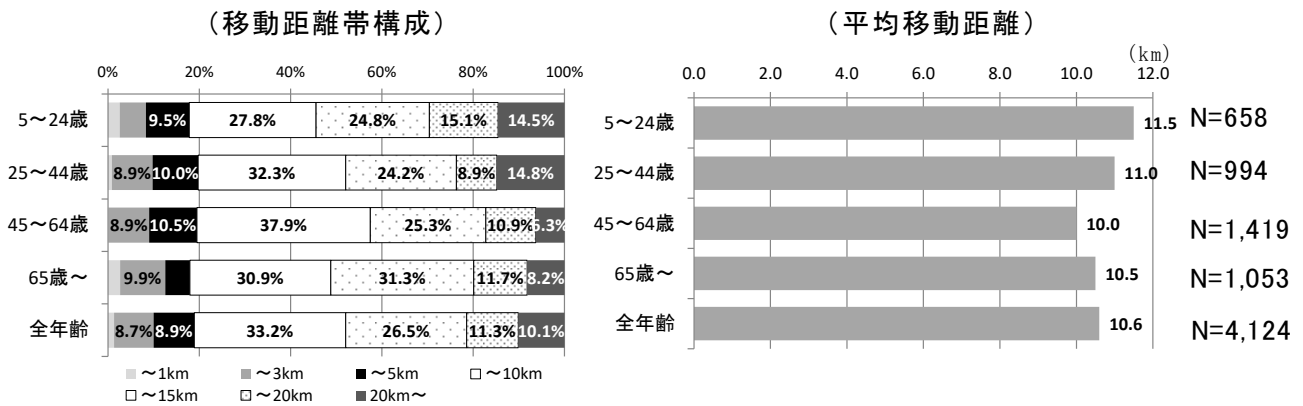
注2：移動距離不明を除く

注3：移動距離は、自宅と行先の直線距離

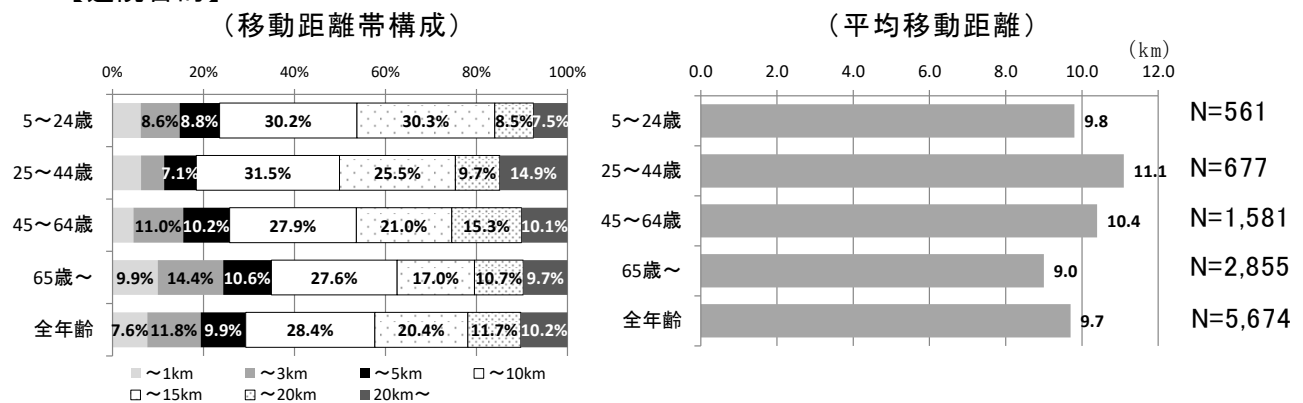
図 3-13 目的別の年齢階層別移動距離帯構成・平均移動距離 (1/2)

休日の買物目的の移動は、年齢にかかわらず平日に比べて移動距離が長くなり、平均移動距離は 10～12 km となる。24 歳以下の若年層の移動距離が他の年齢階層より長い。65 歳以上の高齢者においても、通院にかかる移動距離は平均で 9km となっている。地域活動の移動距離は年齢による差が大きく、65 歳以上の高齢層が最も短い。

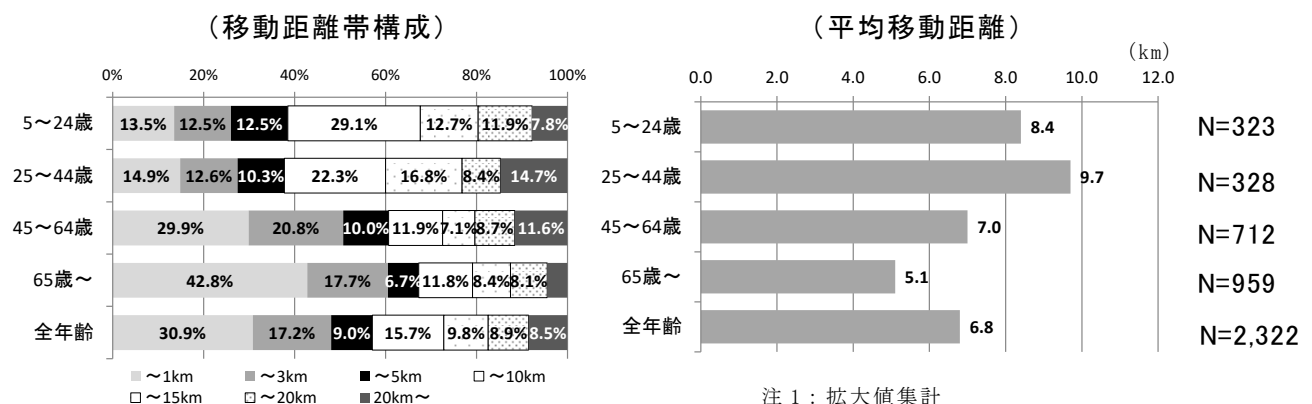
【買物目的（休日）】



【通院目的】



【地域活動目的】



注1：拡大値集計  
 注2：移動距離不明を除く  
 注3：移動距離は、自宅と行先の直線距離

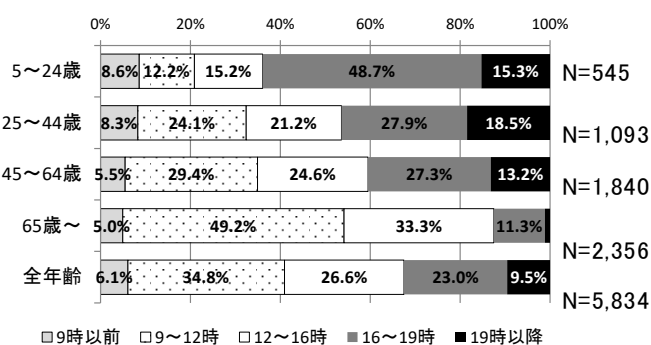
図 3-13 目的別の年齢階層別移動距離帯構成・平均移動距離 (2/2)

### ⑤私事目的の活動時間

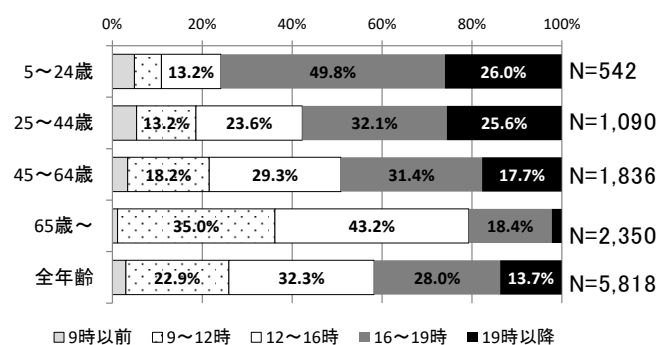
平日における買物の活動時間は、年齢によって差がみられる。5歳～24歳の若年層の約半数が16時以降に買物目的の活動を行っており、65歳以上の高齢層は午前中の活動が多い。休日の買物の活動時間は、平日に比べ午前中に自宅を出発する傾向となり、19時以降の帰宅は少ない。

#### 【買物目的（平日）】

##### （行きの時間帯）

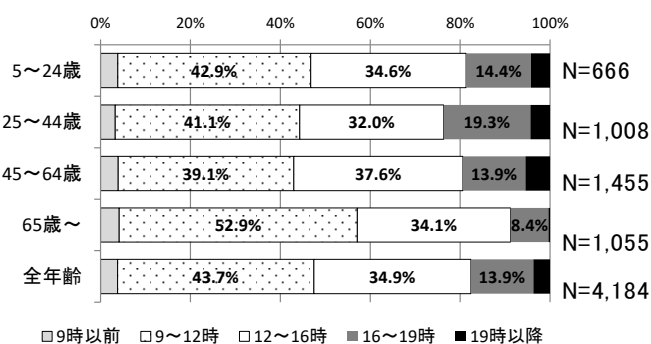


##### （帰りの時間帯）

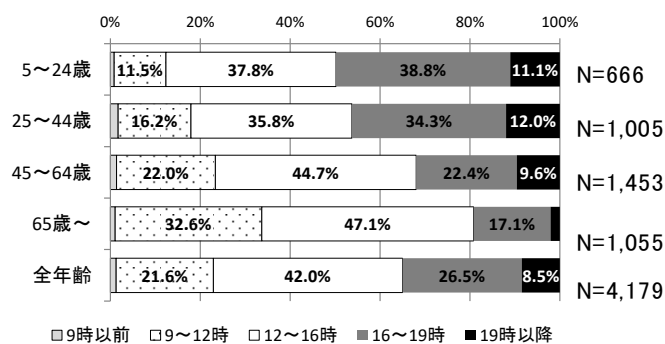


#### 【買物目的（休日）】

##### （行きの時間帯）



##### （帰りの時間帯）



注1：拡大値集計

注2：時間帯不明を除く

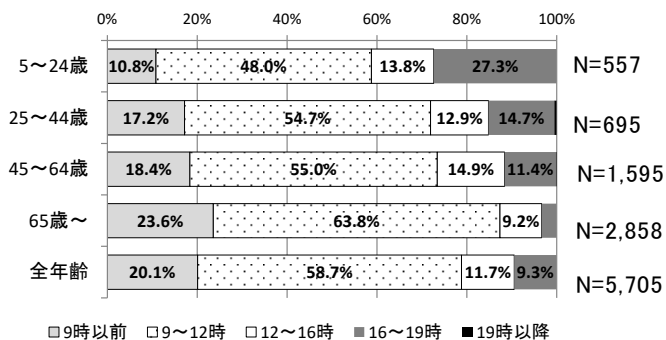
注3：行きとは自宅を出る時刻、帰りは自宅に戻る時刻

図 3-14 目的別の年齢階層別活動時間帯（1/2）

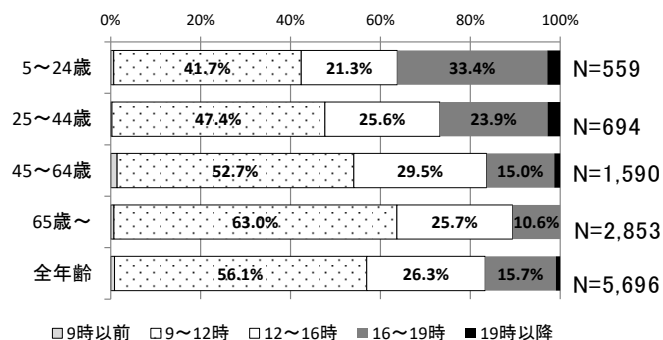
通院目的の活動時間は午前中に集中しており、特に高齢層で顕著である。地域活動の移動は各時間帯で見られる。

【通院目的】

(行きの時間帯)

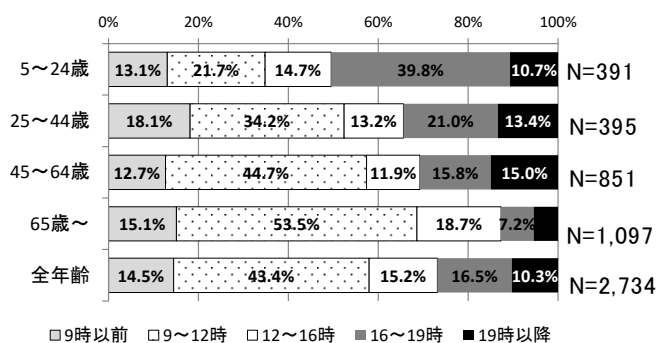


(帰りの時間帯)

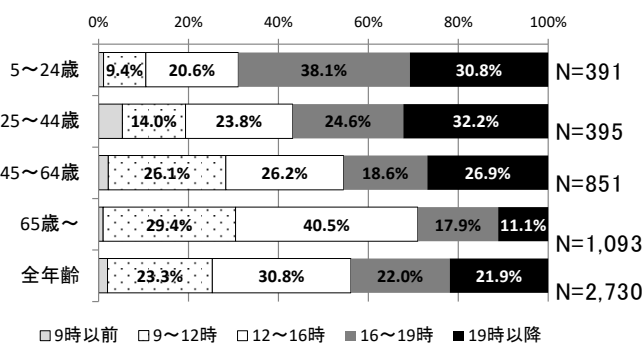


【地域活動目的】

(行きの時間帯)



(帰りの時間帯)



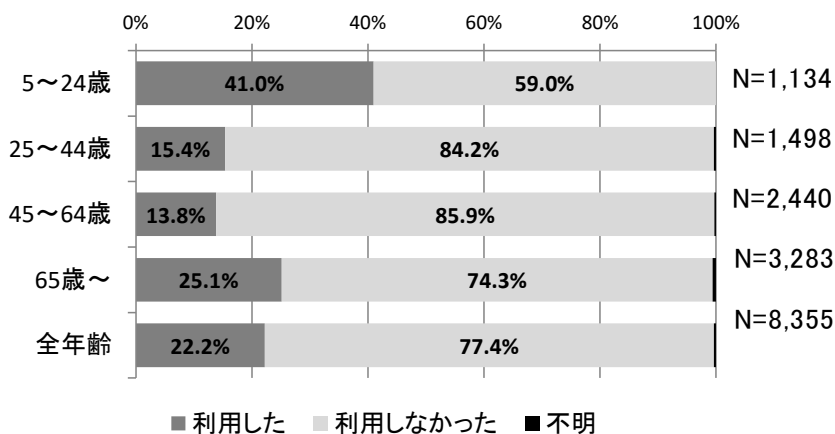
注1：拡大値集計  
 注2：時間帯不明を除く  
 注3：行きとは自宅を出る時刻、帰りは自宅に戻る時刻

図 3-14 目的別の年齢階層別活動時間帯 (2/2)

### (3) この1年間での路線バスの利用状況

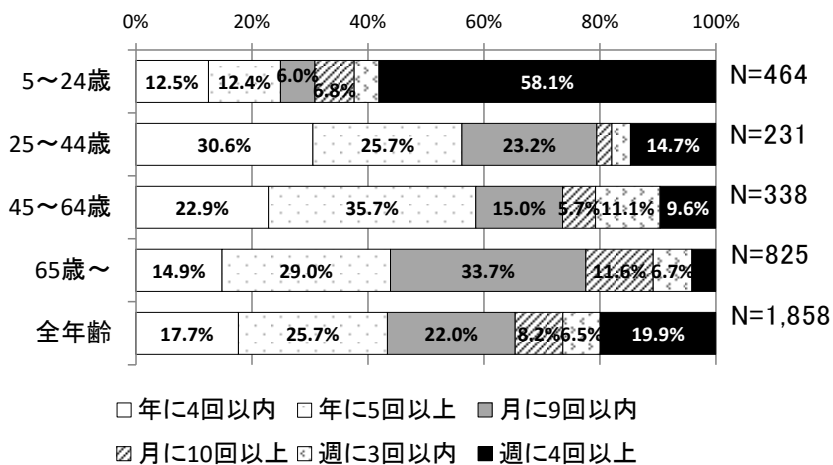
#### ①路線バスの利用状況

この1年間で路線バスを利用したことがある方は、全年齢では約22%である。5～24歳の若年層と65歳以上の高齢層は比較的バスを利用する傾向がみられる。利用した方の利用頻度をみると、24歳以下の若年層では「週に4回以上」利用する割合が約58%であり、利用頻度が比較的高い。



注：拡大値集計

図 3-15 年齢階層別のこの1年間での路線バスの利用有無



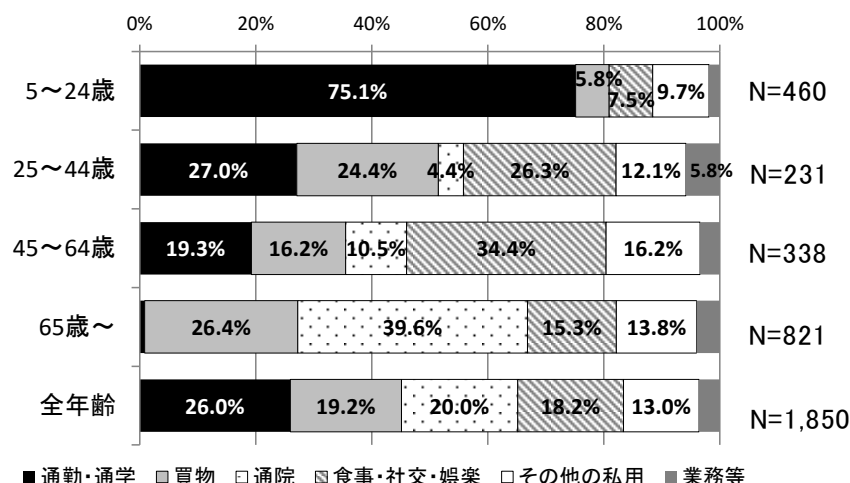
注1：拡大値集計

注2：この1年間で路線バスを利用した方の利用頻度を集計。利用頻度不明を除く

図 3-16 年齢階層別のこの1年間での路線バスの利用頻度

## ②路線バスの利用目的

路線バスの利用目的は、年齢によって異なる。24歳以下では通勤・通学での利用が75%と最も多い。25～64歳では各目的で利用されているが、45～64歳は「食事・社交・娯楽」での利用が多い。65歳以上の高齢者は、「通院」での利用が最も多い。



注1：拡大値集計

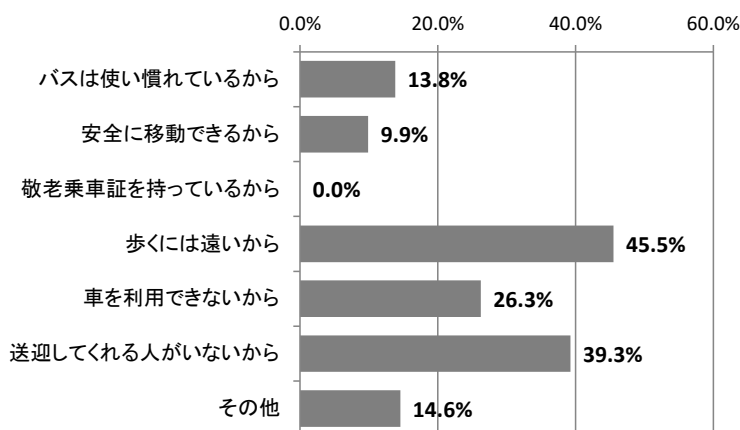
注2：この1年間で路線バスを利用した方で、バスで最もよく行った施設への利用目的を集計。目的不明は除

図 3-17 年齢階層別の路線バスの利用目的

## ③路線バスの利用理由

5～24歳で最も多いバス利用の理由は、「歩くには遠いから」であり、次に「送迎してくれる人がいないから」となっている。

【5～24歳】



注1：拡大値集計

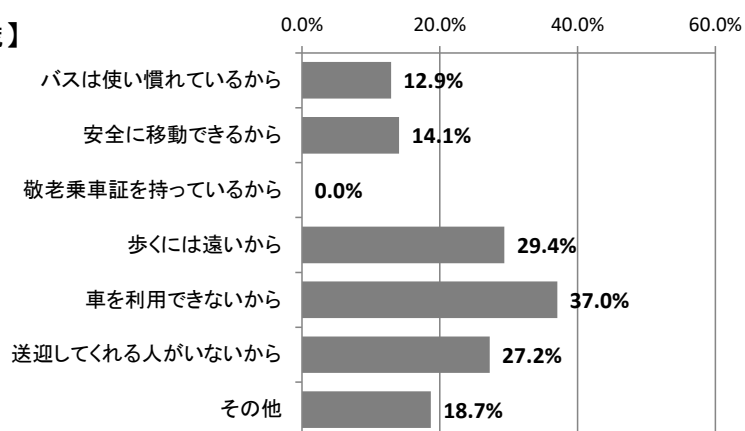
注2：この1年間で路線バスを利用した方で、バスの利用目的を集計

注3：理由は複数選択のため、理由ごとに選んだ回答人数の割合を集計

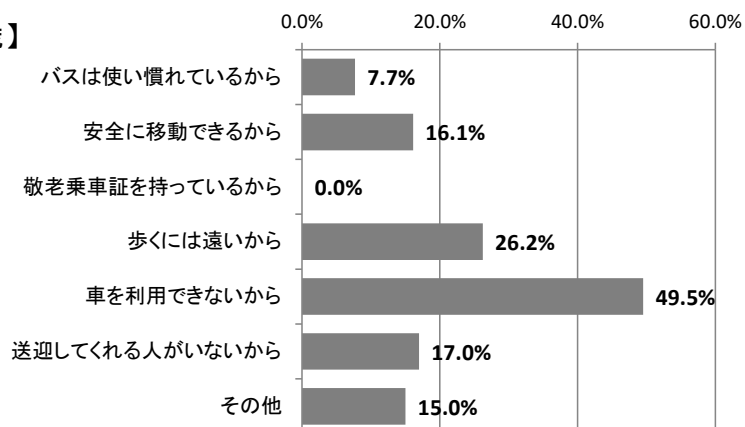
図 3-18 年齢階層別の路線バス利用理由の回答率 (1/2)

25～44 歳、45～64 歳で最も多いバス利用の理由は、「車を利用できないから」であり、65 歳以上では「敬老乗車証を持っているから」が最も多い。

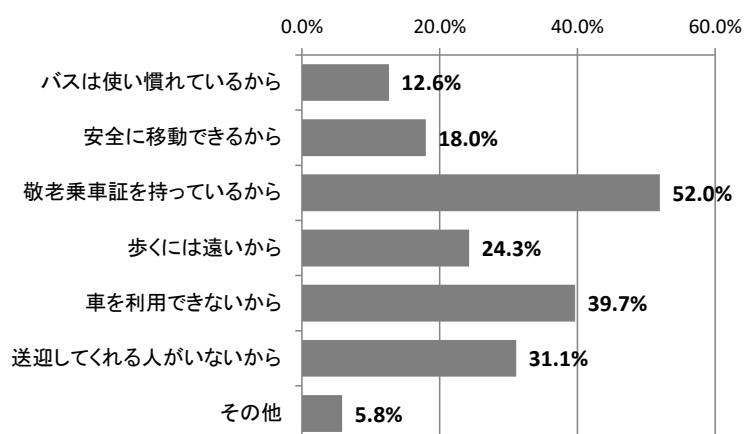
【25～44 歳】



【45～64 歳】



【65 歳～】



注 1：拡大値集計

注 2：この 1 年間で路線バスを利用した方で、バスの利用目的を集計

注 3：理由は複数選択のため、理由ごとに選んだ回答人数の割合を集計

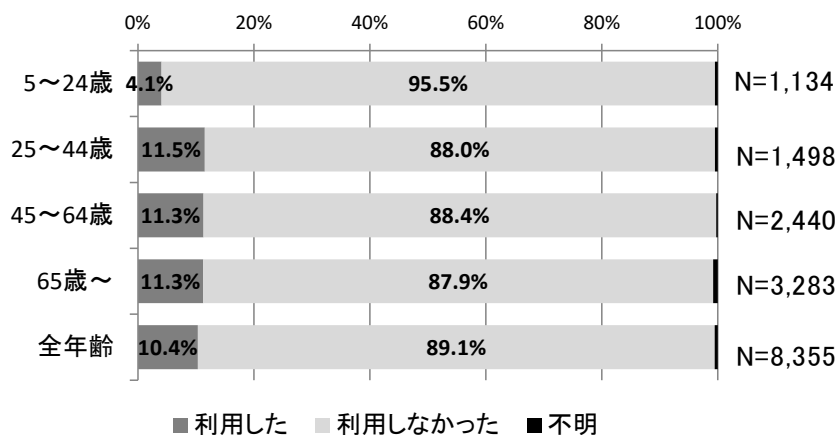
図 3-18 年齢階層別の路線バス利用理由の回答率 (2/2)



#### (4) この1年間でのタクシーの利用状況

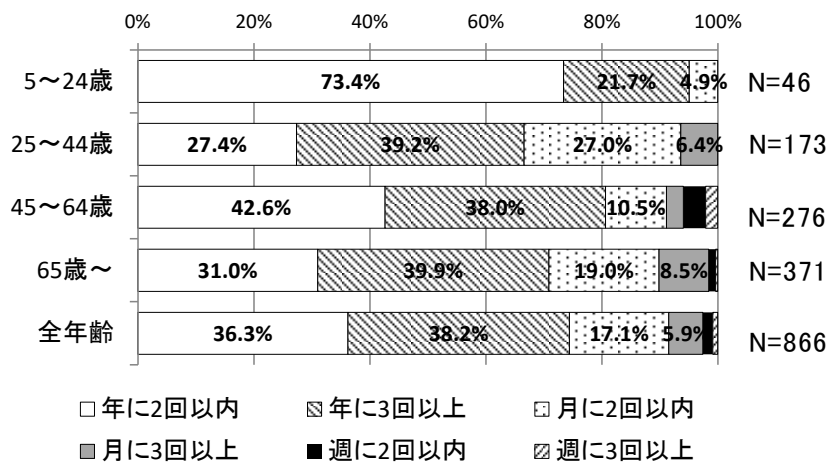
##### ① タクシーの利用状況

この1年間でタクシーを利用したことがある割合は、5～24歳の若年層で約4%、25歳以上は約11%である。利用した方の利用頻度は、どの年齢階層でも「年に数回」との回答が多く6割を超える。



注：拡大値集計

図 3-19 年齢階層別のこの1年間でのタクシーの利用有無



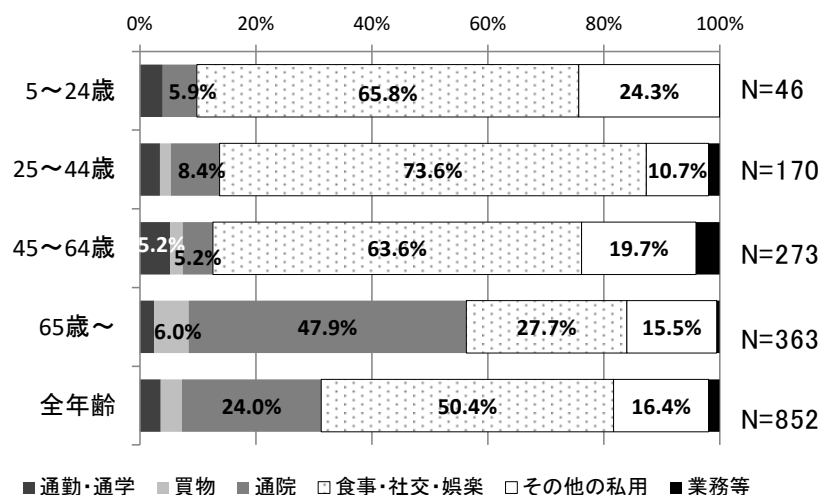
注 1：拡大値集計

注 2：この1年間でタクシーを利用した方の利用頻度を集計。利用頻度不明を除く

図 3-20 年齢階層別のこの1年間でのタクシーの利用頻度

## ② タクシーの利用目的

タクシーの利用目的は、64歳以下では、「食事・社交・娯楽」での利用が最も多く、65歳以上は「通院」での利用が約半数と最も多い。



注1：拡大値集計

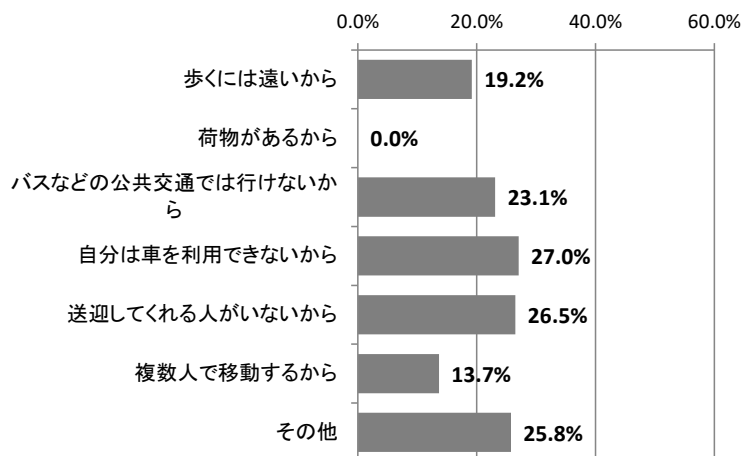
注2：この1年間でタクシーを利用した方で、タクシーで最もよく行った施設への利用目的を集計。目的不明は除く

図 3-21 年齢階層別のタクシーの利用目的

## ③ タクシーの利用理由

5~24歳でのタクシー利用の理由は、「自分は車を利用できないから」、「送迎してくれる人がいないから」が多い。

### 【5~24歳】



注1：拡大値集計

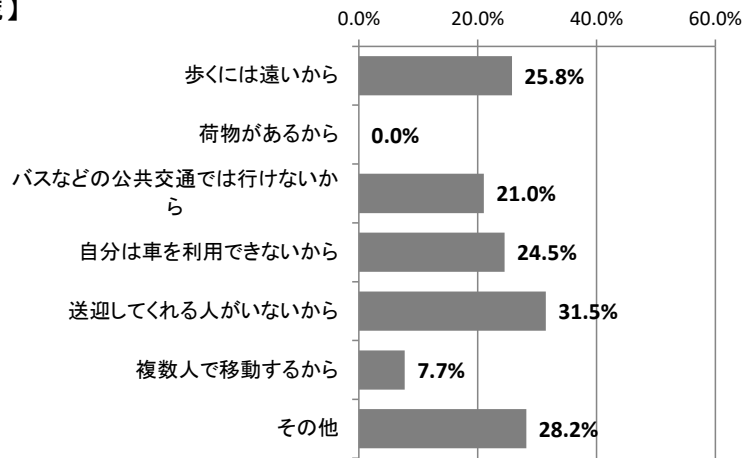
注2：この1年間でタクシーを利用した方で、タクシーの利用目的を集計

注3：理由は複数選択のため、理由ごとに選んだ回答人数の割合を集計

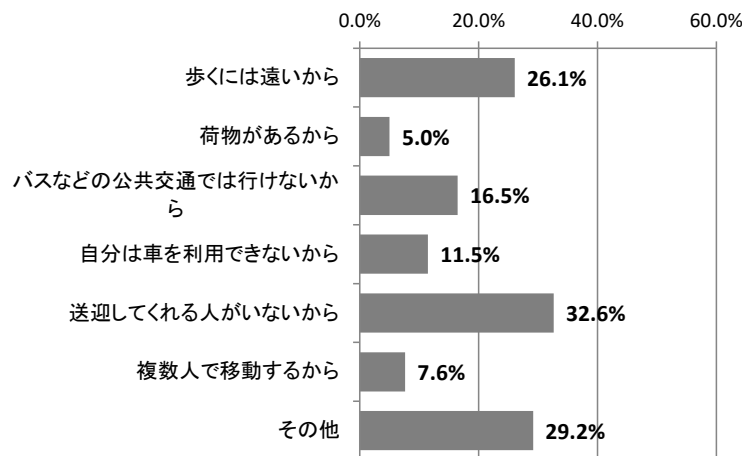
図 3-22 年齢階層別のタクシー利用理由の回答率 (1/2)

25歳以上でのタクシー利用の理由は「送迎してくれる人がいないから」が最も多く、特に65歳以上での回答は約半数に達する。

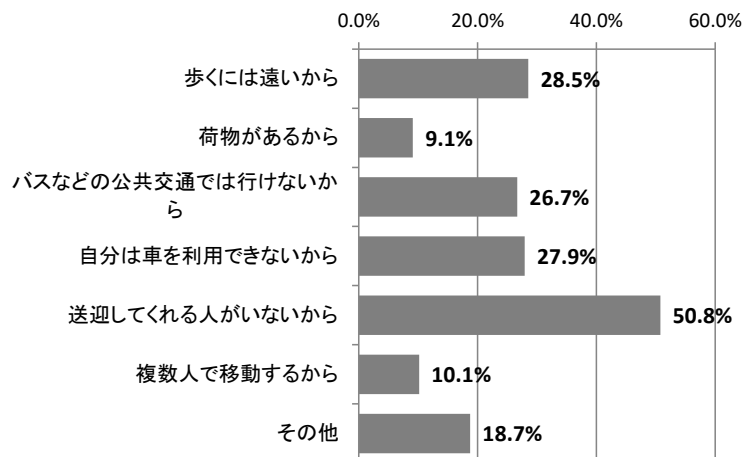
【25～44歳】



【45～64歳】



【65歳～】



注1：拡大値集計

注2：この1年間でタクシーを利用した方で、タクシーの利用目的を集計

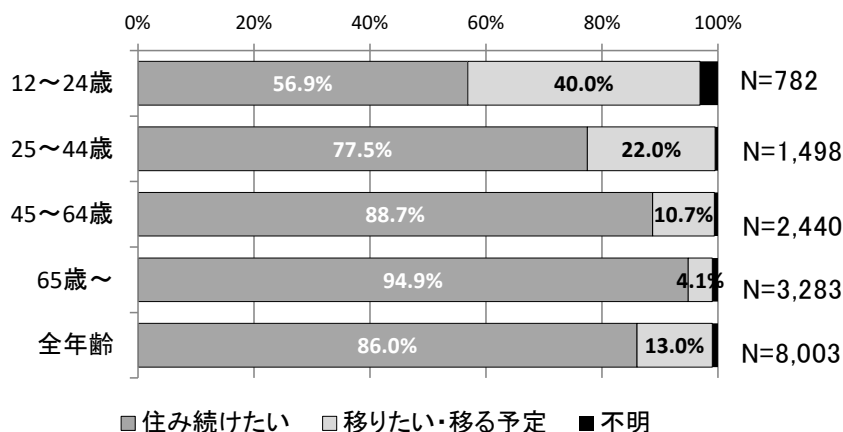
注3：理由は複数選択のため、理由ごとに選んだ回答人数の割合を集計

図3-22 年齢階層別のタクシー利用理由の回答率（2/2）

## (5) 今後の居留意向について

### ①今後の居留意向

「住み続けたい」との回答は、全年齢では約 86% であるが、年齢が上がるにつれて高まっている。最も居留意向が低い 12～24 歳でも「住み続けたい」との回答は、約 57% と半数を超える。



注 1：拡大値集計

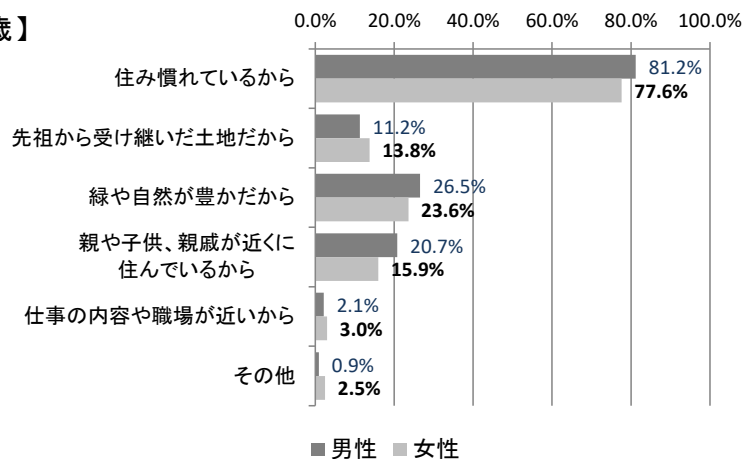
注 2：設問は 12 歳以上を対象

図 3-23 年齢階層別の今後の居留意向

### ②住み続けたい理由

12～24 歳では「住み慣れているから」の回答が多く、男女ともに約 80% 程度である。

#### 【12～24 歳】



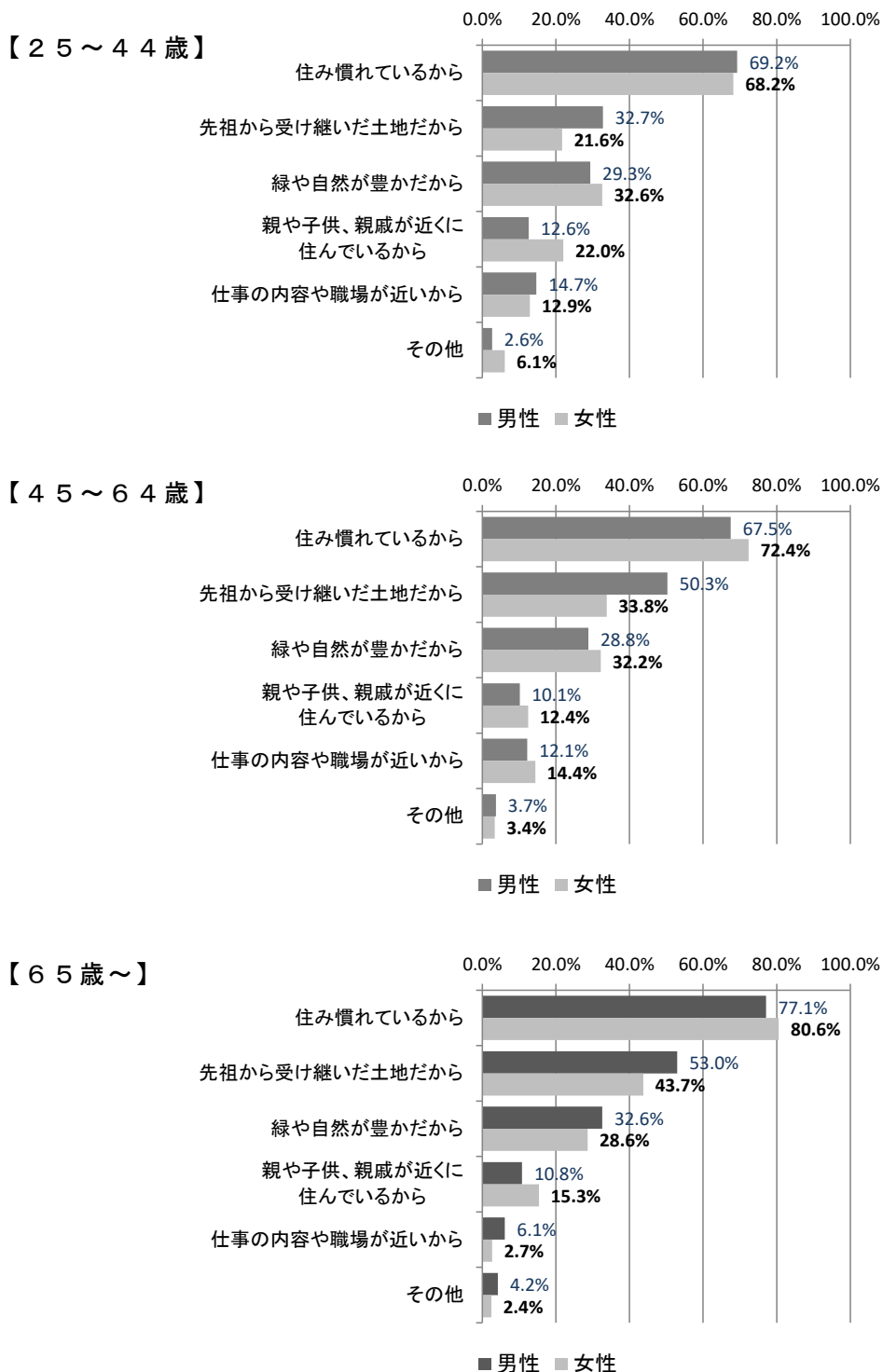
注 1：拡大値集計

注 2：設問は 12 歳以上を対象

注 3：複数選択のため、回答人数の割合を集計

図 3-24 年齢階層別の住み続けたい理由の回答率 (1/2)

25歳以上はどの年齢でも「住み慣れているから」の回答が最も多いが、12～24歳の若年層と異なり「先祖から受け継いだ土地だから」の回答が占める割合も多い。



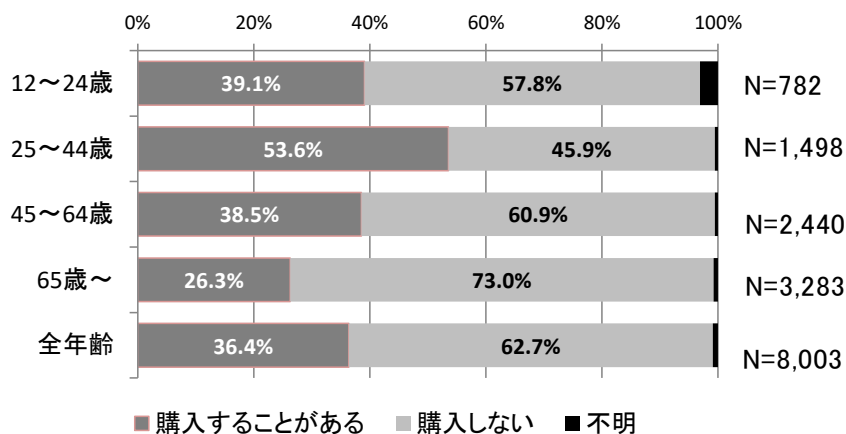
注1：拡大値集計  
 注2：設問は12歳以上を対象  
 注3：複数選択のため、回答人数の割合を集計

図3-24 年齢階層別の住み続けたい理由の回答率 (2/2)

## (6) 移動販売やネットショッピング等の利用について

### ①購入経験・購入手段

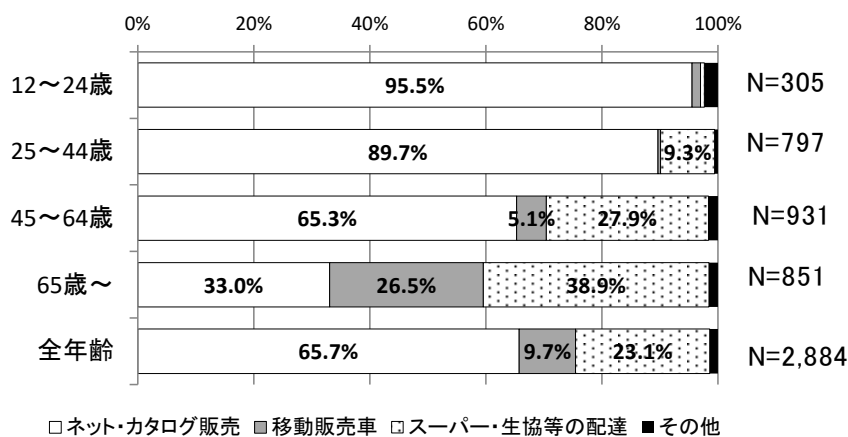
移動販売やネットショッピング等で購入した経験がある方は全年齢で約36%であり、25～44歳が他の年齢より多く約54%の方が購入経験がある。65歳以上の高齢者でも約26%は購入経験がある。購入の手段は、44歳以下は「ネット・カタログ販売」が多いが、65歳以上では「移動販売車」や「スーパー等の配達利用」も多い。



注1：拡大値集計

注2：設問は12歳以上を対象

図3-25 年齢階層別の移動販売やネットショッピング等の利用経験



注1：拡大値集計

注2：設問は12歳以上を対象

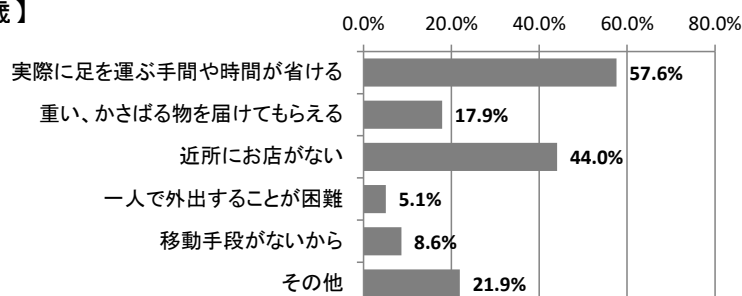
注3：購入経験のある方で、最も利用する手段を集計。手段不明を除く

図3-26 年齢階層別の移動販売やネットショッピング等の利用手段

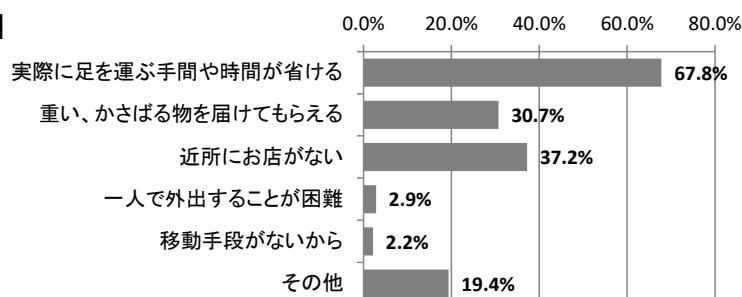
## ②利用する理由

12～24歳と65歳以上では、「実際に足を運ぶ手間や時間が省ける」と「近所にお店がない」の2つの理由が多い傾向である。25～44歳と45～64歳では、「実際に足を運ぶ手間や時間が省ける」が、他の理由より多い傾向がみられる。

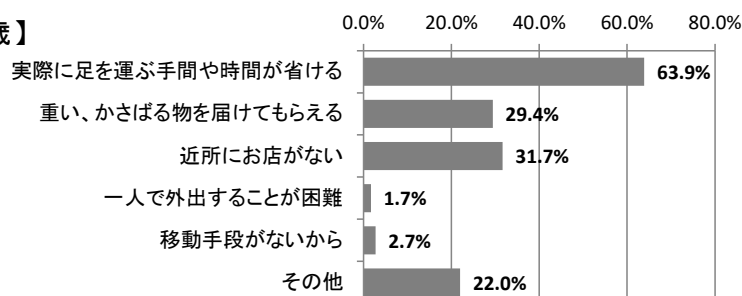
### 【12～24歳】



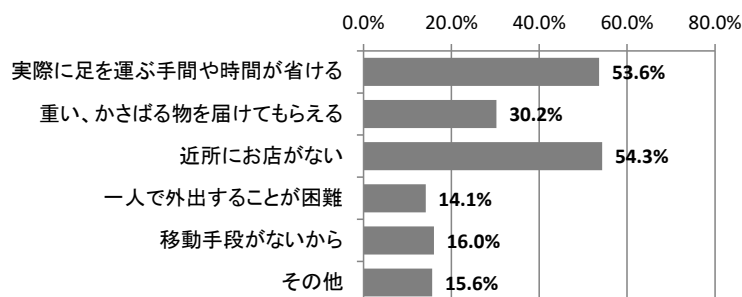
### 【25～44歳】



### 【45～64歳】



### 【65歳～】



注1：拡大値集計

注2：設問は12歳以上を対象

注3：複数選択のため、回答人数の割合を集計

図3-27 年齢階層別の移動販売やネットショッピング等の利用理由



## (参考資料) 用語の説明

表 3-1 用語の説明 (1/2)

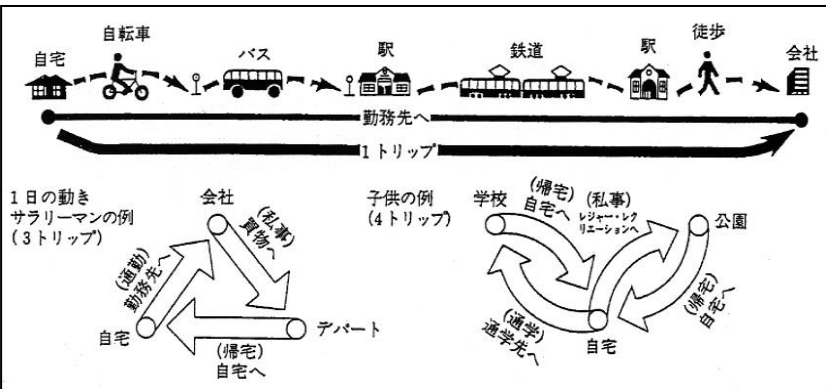
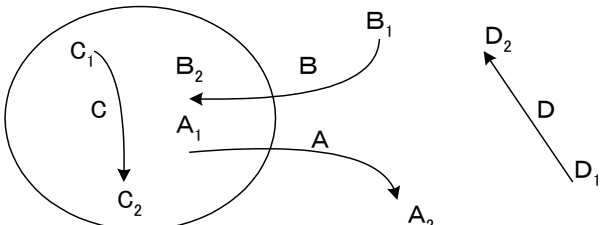
用語	説明
トリップ	<p>■交通を捉える単位で、ある目的を持った、出発地から目的地までの移動のことです。</p> <p>■途中で交通手段が変わっても、1トリップと数えます。</p> 
トリップ エンド	<p>■トリップの起点と終点のことです。</p> <p>■移動を矢印で表現すると、矢印の線がトリップ（ゾーン X 関連は 3 トリップ）、矢印の短点がトリップエンド（ゾーン X 関連は 4 トリップエンド）に相当します。</p> <p style="text-align: center;">ゾーン：X</p> 
外出率	<p>■居住人口に対する外出人口の割合で、単位は「%」です。</p>
1人あたりトリップ数	<p>■1人の1日あたりトリップ回数の平均値で、単位は「トリップ/人・日」です。</p>
代表交通手段	<p>■代表交通手段とは、1トリップの中で使用した交通手段において、予め設定した優先度が最も高い交通手段のことで、優先度は、鉄道、バス、自動車、二輪車、徒歩の順となります。</p> <p>■例えば、自宅から勤務先まで、徒歩→バス→鉄道→徒歩で移動した場合には、代表交通手段は鉄道となります。</p>

表 3-2 用語の説明 (2/2)

発生量／ 集中量	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ある地域から出発するトリップをその地域の発生量、到着するトリップを集中量と言います。</li> <li>■単位は「トリップ」「トリップエンド」の双方が使用可能です。ここでは「トリップ」に統一します。</li> </ul>
発生集中量	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ある地域の発生量と集中量の和（発生量＋集中量）を、その地域の発生集中量と言います。</li> <li>■単位は「トリップエンド」です。</li> </ul>
鉄道端末手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>■出発地から鉄道駅（または、鉄道駅から目的地）までに利用した、主な交通手段のことです。</li> </ul>